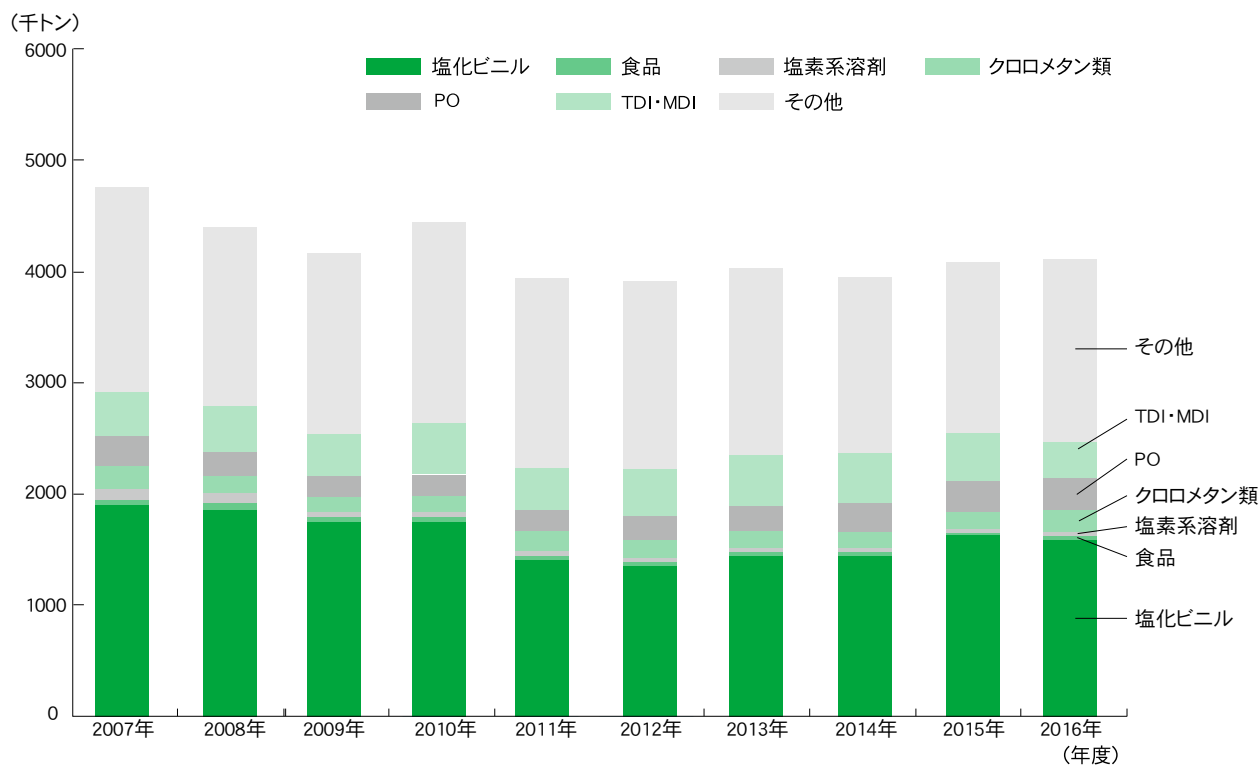


# 塩素の需要推移



(単位：千トン)

用途部門	年度	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
塩化ビニル		1,897	1,818	1,732	1,713	1,400	1,346	1,433	1,434	1,613	1,590
食品		47	46	42	38	35	38	36	29	23	21
塩素系溶剤		98	95	56	61	58	48	51	47	54	53
クロロメタン		238	188	136	157	183	161	155	172	193	180
PO		249	222	218	211	198	197	224	226	255	308
TDI・MDI		387	344	352	418	356	419	444	446	395	329
その他		1,860	1,629	1,667	1,766	1,733	1,715	1,674	1,601	1,607	1,670
合計		4,776	4,342	4,203	4,364	3,964	3,924	4,017	3,955	4,140	4,151

注1) 副生塩酸、輸入塩素誘導品を含む。

注2) PO：プロピレンオキシド、TDI：トリレンジイソシアネート、MDI：ジフェニルメタンジイソシアネート

この塩素需要は9頁の塩素発生量に、注1の通り、副生塩酸と輸入塩素を加えた塩素の総需要量を需要項目別にまとめたものです。

塩素需要の特徴的なことは、塩化ビニル向けが全体の約38%を占めていることです。さらに、主にウレタン樹脂原料となる、PO、TDI・MDI向けにも約15%が使

用されており、これらの製品向けに全需要の半分以上を占めています。

一時期、塩化ビニル向け需要の割合が低下していましたが、近年はやや持ち直しています。

PO向けが年を追う毎に増加している一方、TDI・MDI向けの需要は減少しています。